

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

本計画は、2025（令和7）年に向けた中長期的な視野に立った「地域包括ケア計画」としても位置づけられる計画であり、すでに「唐津市第8期高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」からこうした視点からの計画として検討・策定していることなどを踏まえ、基本理念については「唐津市第9期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を踏襲します。

**高齢者が住み慣れた地域で健康で
生きがいを持ち暮らせるまちづくり**

2 基本目標

基本理念の実現のために、次の3つの基本目標を柱とします。なお、この基本目標を進めるための各種施策の体系については本章の「4 施策の体系」を、各種施策の内容については「第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開」に記載しています。

高齢者が住み慣れた地域で健康で
生きがいを持ち暮らせるまちづくり

基本目標1 高齢者の社会参加と
安心して暮らせる体制の推進

基本目標2 地域で支える体制づくりの推進

基本目標3 介護サービスの実施と質の向上

〈基本目標1〉 高齢者の社会参加と安心して暮らせる体制の推進

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で役割や生きがいを持ち安心して過ごすことができるよう支援します。

具体的には、高齢者が培ってきた豊かな知識や経験を活かすための社会参加活動や生涯学習活動の支援、バリアフリー化や高齢者の活動拠点施設の整備などの高齢者にやさしい町づくり、マッサージ券の交付などの健康福祉サービスの充実化などに取り組みます。

〈基本目標2〉 地域で支える体制づくりの推進

介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、地域で支える体制づくりに取り組みます。

具体的には、市民主体の健康づくりや介護予防、自立支援の促進に取り組み、自助・互助・共助・公助による支援体制の充実を図ります。

また、関係機関・団体と連携し、多職種協働による在宅医療・介護連携の推進、地域ケア会議や生活支援体制整備の充実を図ります。認知症の人とその家族への支援として、認知症への理解を深めるための啓発や早期発見・早期支援の仕組みづくり、地域での見守り体制づくり等を推進します。

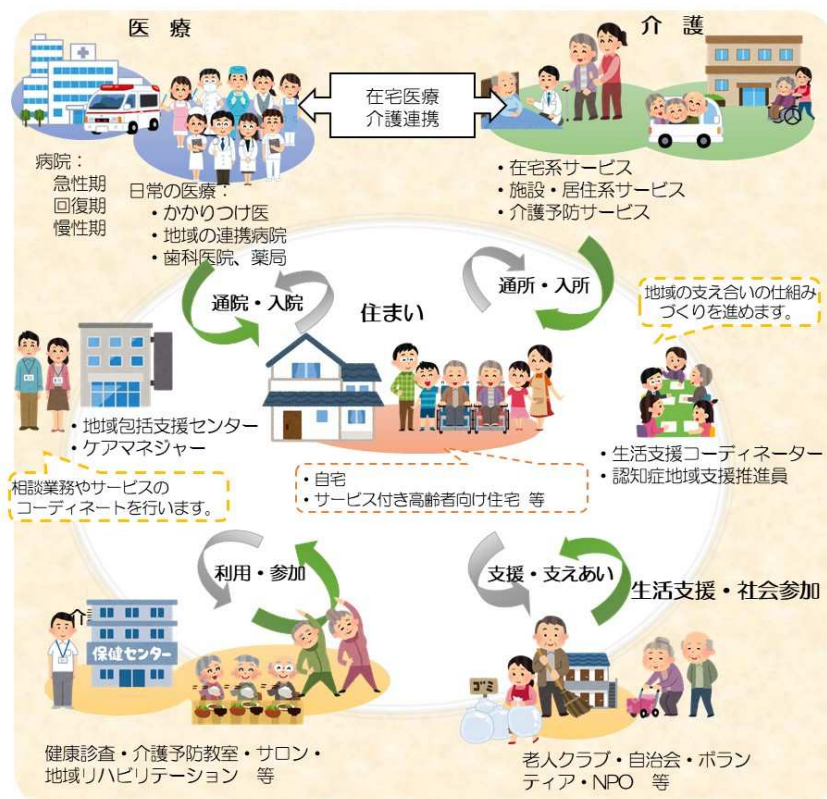
さらに、権利擁護支援として成年後見制度の利用促進のための体制づくりを推進します。

〈基本目標3〉 介護サービスの実施と質の向上

介護保険制度に基づき、介護給付や介護予防給付を実施するとともに、介護サービスの充実化・強化・適正化に取り組みます。

具体的には、利用者が安心して良質なサービスを利用できるよう、利用者の立場に立った相談・苦情対応・情報公開の体制を充実します。また、サービスの質の確保や向上を図るため、介護人材の養成・確保・専門性向上に取り組みます。また、認定調査やケアプランの点検などを実施し、サービスの適正化に取り組みます。

〈地域包括ケアシステム〉



3 重点的目標指標

第8期計画においても、下記の成果指標を自立支援・重度化防止の重点的目標指標として設定し、PDCAサイクルの中で確認しながら取り組んでいく予定です。

◆第7期計画の重点目標指標の達成状況

区分		2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)
介護予防のための地域ケア個別会議における取扱事例数	目標値	150 事例	150 事例	150 事例
	実績値	117 事例	91 事例	82 事例
認知症サポーター養成者数(累計)	目標値	5,858 人	6,428 人	7,054 人
	実績値	6,201 人	6,780 人	6,960 人
認知症カフェ(か所)	目標値	2 件	3 件	4 件
	実績値	1 件	1 件	1 件
介護支援ボランティア登録者数	目標値	190 人	200 人	210 人
	実績値	168 人	258 人	260 人
生活支援コーディネーター数(第2層)	目標値	14 人	14 人	14 人
	実績値	14 人	12 人	12 人
地域協議体数	目標値	20 協議体	27 協議体	27 協議体
	実績値	18 協議体	25 協議体	27 協議体
健康教育(延人数)	目標値	4,000 人	4,000 人	4,000 人
	実績値	3,630 人	3,218 人	1,600 人
健康相談(延人数)	目標値	3,800 人	3,800 人	3,800 人
	実績値	4,111 人	4,119 人	2,000 人
自主サークル(か所)	目標値	17 か所	32 か所	49 か所
	実績値	26 か所	45 か所	60 か所

※2020年度(R2)は見込値

◆第8期計画の重点目標指標

区分	現状	目標			※参照 掲載か所
	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	
地域ケア個別会議 事例数(件)	82	82	82	82	P66
認知症サポーター養成講座 受講者(人)	180	200	200	200	P69
認知症カフェ(か所)	1	2	2	2	P72
介護支援ボランティア登録者(人)	210	210	210	210	P59
(生活支援体制整備事業) 啓発研修会(回)	—	2	2	2	P66
健康教育(延人数)	1,600	2,800	2,800	2,800	P57
健康相談(延人数)	2,000	3,500	3,500	3,500	P57
自主サークル(か所)	60	76	92	108	P57
(再掲) 自主サークルのうち百歳体操(か所)	34	46	58	70	P59

※2020年度(R2)は見込値

地域ケア個別会議では多職種が連携し、自立支援・重度化防止の観点より個別事例の検討を行い、支援していきます。

認知症カフェや認知症サポーターの養成により認知症の正しい理解と地域での支援を進めていきます。

高齢者の社会参画や地域の担い手の養成としてボランティア活動の推進や啓発研修会を開催します。

介護予防や重度化防止に関する普及啓発として健康教育や健康相談を実施し、地域住民主体の通いの場である自主サークルや百歳体操ではリハビリテーション専門職等が参画し、地域での介護予防の取組を支援します。

これらの取組により、高齢者の自立した日常生活の支援、要介護状態等の予防や悪化防止を重点的に行っていきます。

4 施策の体系

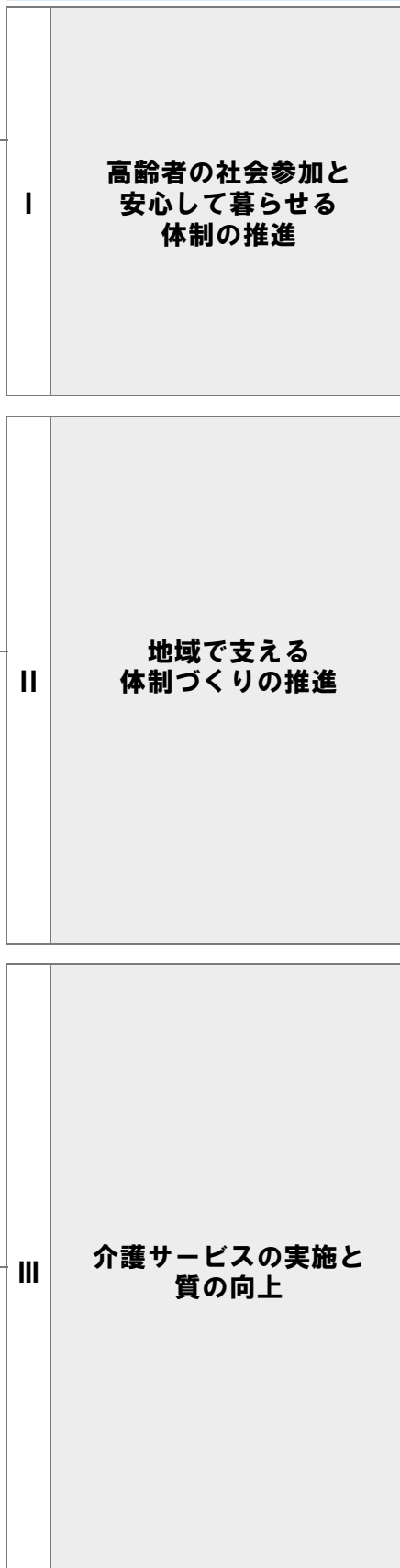
本計画における様々な取組について、基本目標とする3つの柱に基づいて体系化します。

【基本理念】

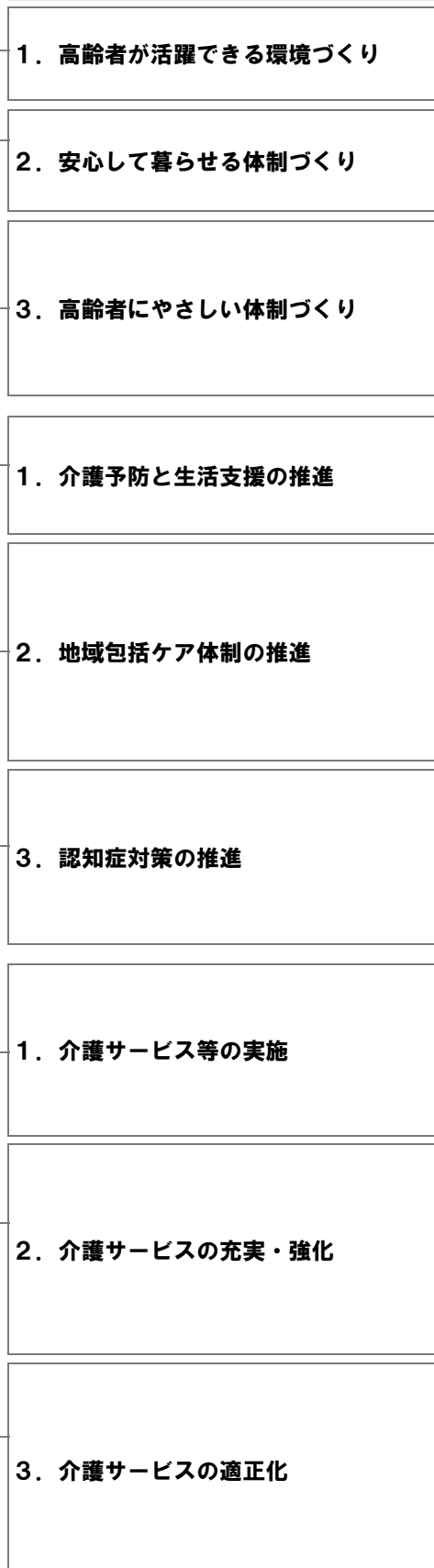
高齢者が住み慣れた地域で健康で生きがいを持ち暮らせるまちづくり

地域包括ケアシステムの構築

【基本目標】



【施策の方向】



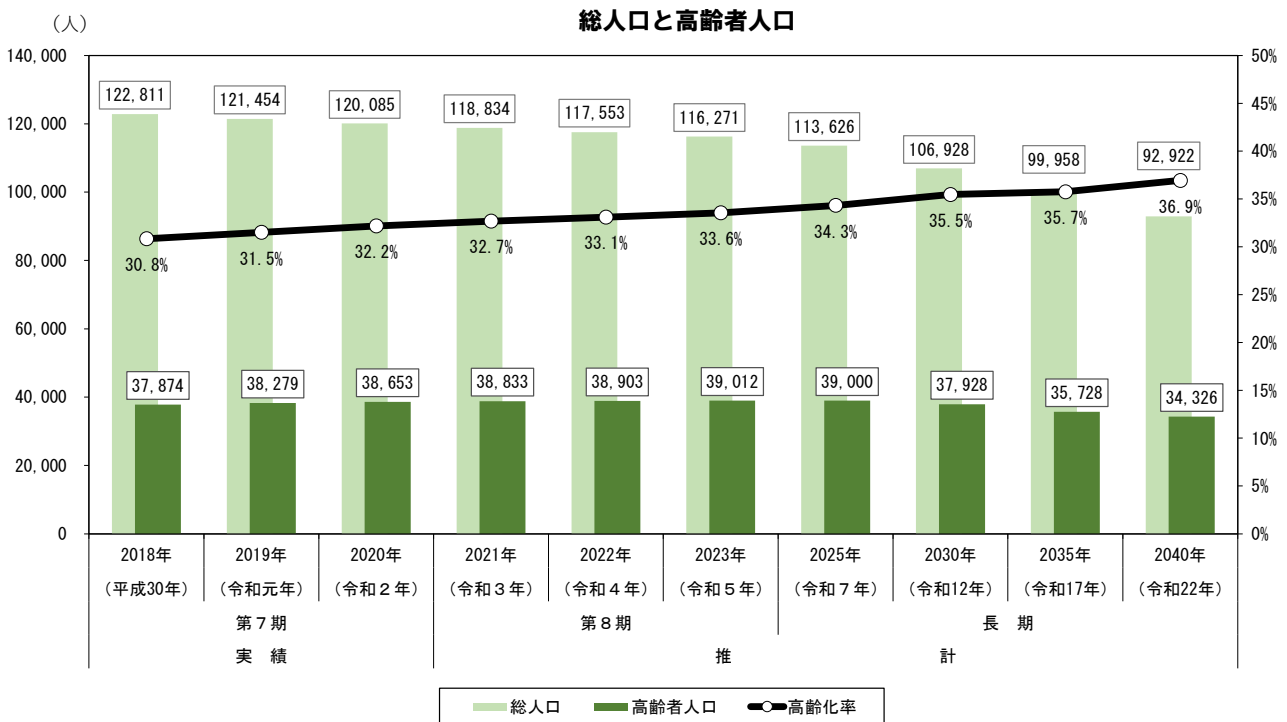
【基本施策】	
(1) 生きがいと社会参加づくりへの支援	①老人クラブの育成 ②シルバー人材センターの育成 ③地区敬老会行事奨励補助事業 ④敬老祝金支給事業 ⑤生涯学習の促進
(2) 生きがいと社会参加づくりの拠点施設	①高齢者ふれあい会館「りふれ」②高齢者福祉施設運営事業 ③老人憩の家設置補助事業
(1) 高齢者福祉サービスの充実	①高齢者緊急通報装置貸与事業 ②高齢者軽度生活援助事業 ③寝たきり高齢者移送サービス事業 ④高齢者訪問理美容サービス事業 ⑤はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業 ⑥運転免許証自主返納者支援事業
(2) 老人福祉施設等の運営等	①養護老人ホームの入所措置など ②高齢者生活福祉センターの運営 ③地域共生ステーション推進事業
(1) 生活環境の整備	
(2) 災害時支援体制の整備	
(3) 感染症対策の充実	
(4) 関係団体との連携	
(5) 情報の提供・広報	
(1) 一般介護予防事業の推進	①介護予防普及啓発事業 ②健康教育相談事業 ③地域介護予防活動支援事業 ④地域リハビリテーション活動支援事業
(2) 家族介護支援事業の充実	①寝たきり高齢者紙おむつ支給事業 ②家族介護者交流事業
(3) 高齢者の見守り支援事業の充実	①地域住民グループ支援事業 ②要介護高齢者配食サービス事業
(1) 地域包括支援センターの適切な運営	①地域包括支援センターの運営 ②地域包括支援センターの機能と体制の強化 ③地域包括支援センター運営協議会
(2) 在宅医療・介護連携の推進	①地域の課題抽出と対応策の検討 ②多職種研修と住民への普及啓発 ③在宅医療・介護関係者に関する相談支援と情報共有
(3) 地域ケア会議の充実	
(4) 生活支援体制整備事業の推進	
(5) 成年後見制度の利用促進	①成年後見制度利用支援事業 ②地域における権利擁護のためのネットワークづくり
(1) 普及啓発・本人発信支援	①認知症サポーター養成と活用 ②世界アルツハイマーデー及び月間における普及啓発イベント等の開催
(2) 予防	①通いの場における認知症予防
(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	①認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進 ②認知症地域支援推進員の活動の推進
(4) 認知症バリアフリーの推進、若年性認知症の人への支援・社会参加支援	①認知症高齢者見守り事業 ②認知症高齢者生活支援事業の推進 ③若年性認知症の人への支援
(1) 居宅介護サービス・介護予防サービス	
(2) 地域密着型介護サービス・地域密着型介護予防サービス	
(3) 施設サービス	
(4) 低所得者への配慮	①食費・居住費の軽減 ②利用者負担の軽減 ③受領委任払い制度 ④高額介護サービス費の支給 ⑤高額医療合算介護サービス費の支給
(1) 介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上	
(2) 介護サービス事業者の質の向上	①介護サービス事業者集団指導 ②相談体制の充実（介護相談員派遣事業） ③事業者の指導 ④地域密着型サービス外部評価 ⑤身体拘束廃止
(3) 介護人材の確保及び業務効率化の取組	
(4) 情報提供・情報開示	
(5) 苦情処理体制の充実	
(1) 要介護認定の適正化	①認定調査の点検 ②認定調査員の資質向上 ③主治医意見書 ④介護認定審査会
(2) ケアプランの点検	
(3) 住宅改修及び福祉用具購入・貸与の点検	①住宅改修 ②福祉用具購入・貸与調査
(4) 縦覧点検・医療情報との突合	
(5) 介護給付費通知	
(6) 協議会実施による点検	

5 将来人口等

○将来人口、将来の高齢者人口については、住民基本台帳データを用いて、コーホート変化率法により独自に推計。(※コーホート変化率法:過去における実績人口の動勢から性別・年齢1歳区分別に「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法)

(1) 総人口

本市の総人口は、今後も緩やかな減少傾向で推移し、計画最終年度である 2023(令和5)年度には 116,271 人に減少、さらに 2025(令和7)年度には 113,626 人、2040(令和22)年には 92,922 人にまで減少することが見込まれます。



※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

(2) 40歳以上の人口

40～64歳の人口については、緩やかな減少傾向で推移し、計画最終年度である2023(令和5)年度には36,099人、2025(令和7)年度には35,138人にまで減少するものと見込まれます。

また、高齢者人口については、2023年(令和5)年度までは、微増基調で推移し、2023(令和5)年度には39,012人、その後減少に転じ、2025(令和7)年度には39,000人、2040(令和22)年度には34,326人にまで減少するものと見込まれます。

前期高齢者(65～74歳)・後期高齢者(75歳以上)別にみると、前期高齢者は2021(令和3)年度をピークに減少に転じ、2023(令和5)年度には18,546人に、後期高齢者は、2030(令和12)年度頃までは増加を続け、2023(令和5)年度には20,466人と見込まれます。

こうした結果として、高齢化率(高齢者人口の総人口に対する割合)は今後も上昇し、2023(令和5)年度には33.6%、さらに2025(令和7)年度には34.3%、2040(令和22)年度には36.9%になるものと見込まれます。

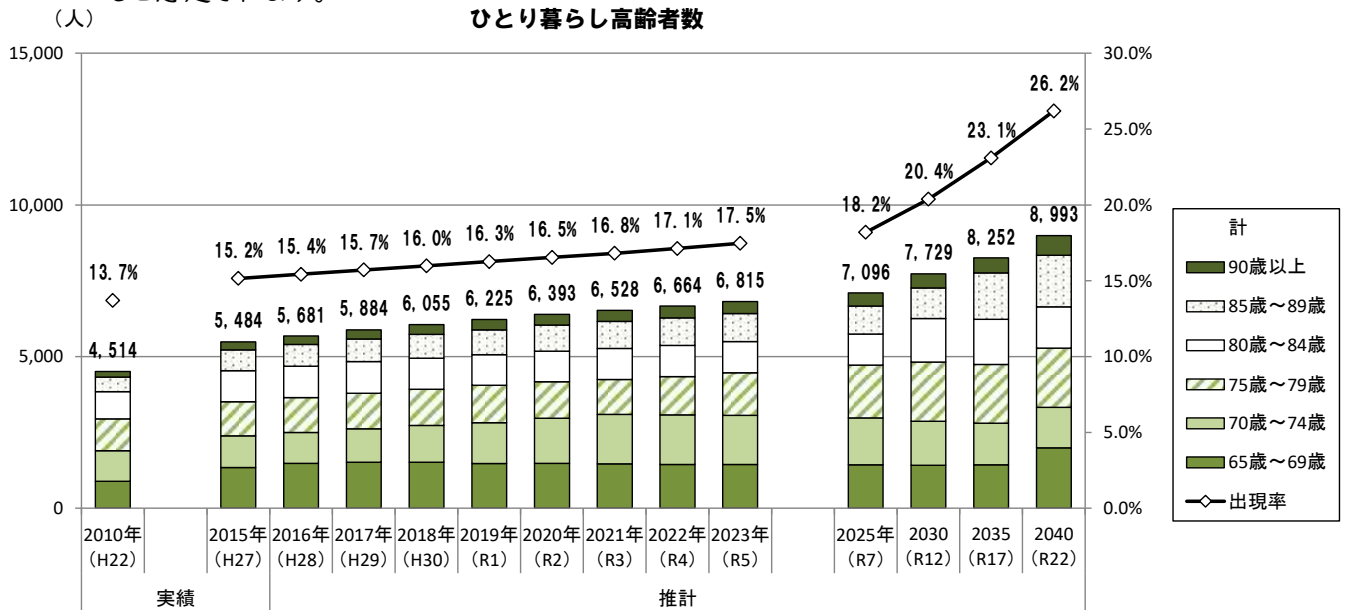
(人)

	実績			推計						
	第7期			第8期			長期			
	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)	2040年 (令和22年)
総数	122,811	121,454	120,085	118,834	117,553	116,271	113,626	106,928	99,958	92,922
0～14歳	16,807	16,428	16,078	15,836	15,529	15,210	14,643	13,283	12,210	11,170
15～39歳	29,368	28,610	27,790	27,109	26,498	25,950	24,845	22,799	21,330	20,003
40～64歳	38,762	38,137	37,564	37,056	36,623	36,099	35,138	32,918	30,690	27,423
65歳以上	37,874	38,279	38,653	38,833	38,903	39,012	39,000	37,928	35,728	34,326
65～74歳	18,302	18,524	19,081	19,493	19,029	18,546	17,306	14,788	12,856	13,013
65～69歳	10,469	9,922	9,673	9,348	8,939	8,703	8,184	7,073	6,185	7,177
70～74歳	7,833	8,602	9,408	10,145	10,090	9,843	9,122	7,715	6,671	5,836
75歳以上	19,572	19,755	19,572	19,340	19,874	20,466	21,694	23,140	22,872	21,313
75～79歳	6,550	6,646	6,376	6,034	6,498	7,126	8,567	8,294	7,029	6,075
80～84歳	5,861	5,688	5,629	5,624	5,611	5,562	5,398	7,266	6,985	5,944
85～89歳	4,287	4,355	4,437	4,456	4,434	4,346	4,131	3,945	5,324	5,064
90歳以上	2,874	3,066	3,130	3,226	3,331	3,432	3,598	3,635	3,534	4,230
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～14歳	13.7%	13.5%	13.4%	13.3%	13.2%	13.1%	12.9%	12.4%	12.2%	12.0%
15～39歳	23.9%	23.6%	23.1%	22.8%	22.5%	22.3%	21.9%	21.3%	21.3%	21.5%
40～64歳	31.6%	31.4%	31.3%	31.2%	31.2%	31.0%	30.9%	30.8%	30.7%	29.5%
65歳以上	30.8%	31.5%	32.2%	32.7%	33.1%	33.6%	34.3%	35.5%	35.7%	36.9%
65～74歳	14.9%	15.3%	15.9%	16.4%	16.2%	16.0%	15.2%	13.8%	12.9%	14.0%
65～69歳	8.5%	8.2%	8.1%	7.9%	7.6%	7.5%	7.2%	6.6%	6.2%	7.7%
70～74歳	6.4%	7.1%	7.8%	8.5%	8.6%	8.5%	8.0%	7.2%	6.7%	6.3%
75歳以上	15.9%	16.3%	16.3%	16.3%	16.9%	17.6%	19.1%	21.6%	22.9%	22.9%
75～79歳	5.3%	5.5%	5.3%	5.1%	5.5%	6.1%	7.5%	7.8%	7.0%	6.5%
80～84歳	4.8%	4.7%	4.7%	4.7%	4.8%	4.8%	4.8%	6.8%	7.0%	6.4%
85～89歳	3.5%	3.6%	3.7%	3.7%	3.8%	3.7%	3.6%	3.7%	5.3%	5.4%
90歳以上	2.3%	2.5%	2.6%	2.7%	2.8%	3.0%	3.2%	3.4%	3.5%	4.6%

※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)

(3) 一人暮らし高齢者数

一人暮らし高齢者数は、2010(平成 22)年は 4,514 人でしたが 2015(平成 27)年には 5,484 人と増加し、今後も高齢者の増加に伴い 2025(令和7)年には、約 7,096 人まで増加すると想定されます。

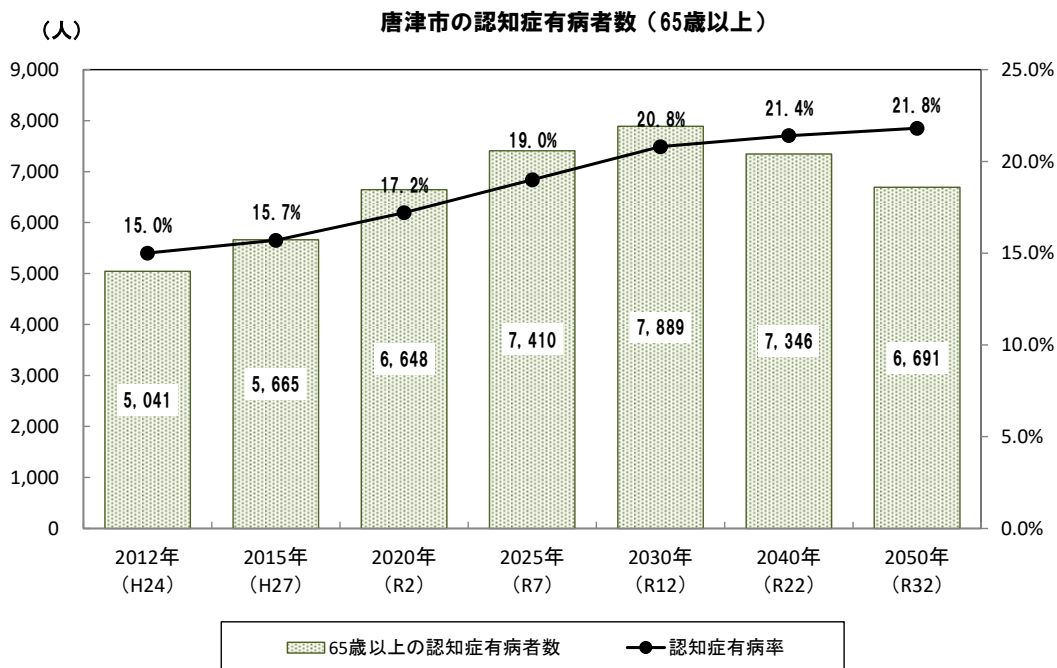


※実績は国勢調査

※性別・年齢5歳区分別の出現率法により推計。

(4) 認知症高齢者数

65歳以上の高齢者の認知症患者数有病率の将来推計についてみると、認知症患者数は、2012(平成 24)年に 5,041 人(高齢者の約 7 人に 1 人)、2025(令和7)年には 7,410 人(高齢者の約5人に 1 人)になるものと推計されています。



※資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(2014(平成 26)年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授)より作成

※2012(平成 24)年は有病率の全国値の実績を基に市の患者数を推計、2015(平成 27)年以降は、全国の有病率の将来推計を基に市の患者数を推計

6 日常生活圏域について

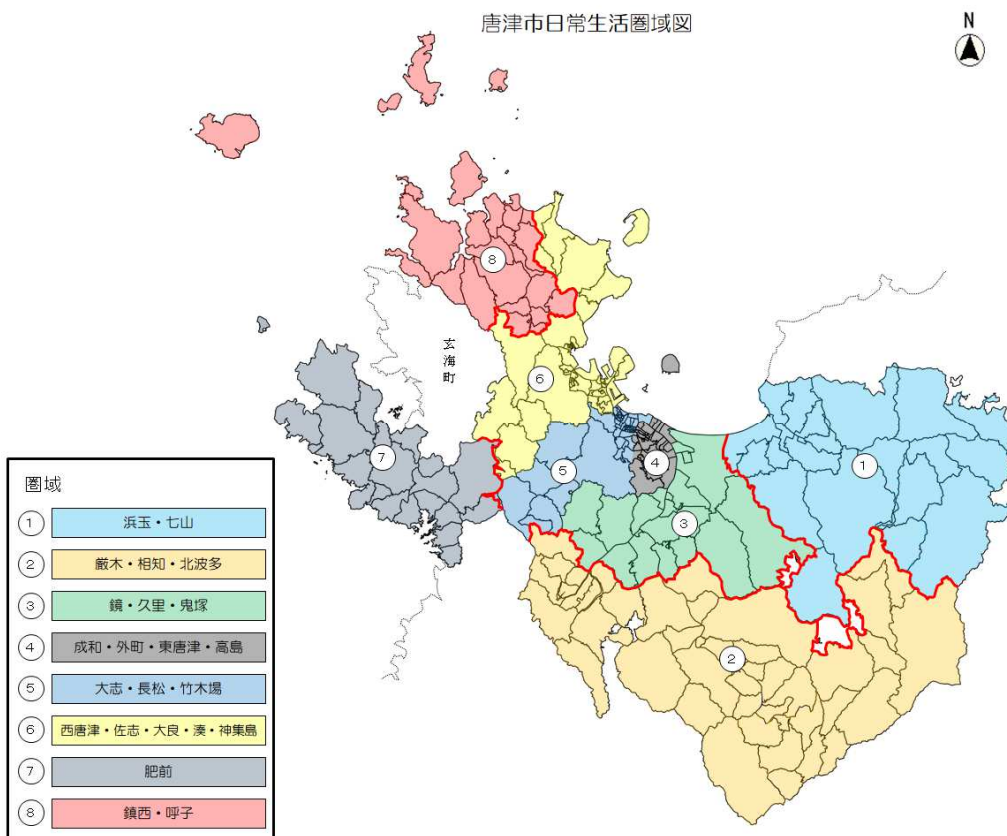
日常生活圏域は、『介護保険法』第117条第2項第1号の規定に基づき、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件等を総合的に勘案して日常生活圏域を設定することになっており、国では2~3万人程度で1圏域とすることが望ましいと基本的な考え方を示しています。

本市では、第7期計画までは、生活環境や歴史的な地域の結びつきを踏まえ7圏域として対応としたところですが、2025(令和7)年度を目途に地域包括ケアシステムの深化・推進を図ることから、各地域の状況等を踏まえ、8圏域の設定とし、地域においてより細やかな対応を行うこととします。

(1) 日常生活圏域ごとの概況

圏域区分	人口	高齢者数	高齢化率
浜玉・七山地域	13,417人	4,017人	29.9%
厳木・相知・北波多地域	15,280人	6,169人	40.4%
鏡・久里・鬼塚地域	23,137人	5,780人	25.0%
成和・外町・東唐津・高島地域	15,710人	4,714人	30.0%
大志・長松・竹木場地域	20,771人	5,909人	28.4%
西唐津・佐志・大良・湊・神集島地域	15,775人	5,591人	35.4%
肥前地域	6,490人	2,684人	41.4%
鎮西・呼子地域	9,505人	3,789人	39.9%
合計	120,085人	38,653人	32.2%

資料:住民基本台帳人口[2020年(R2)10月1日現在]

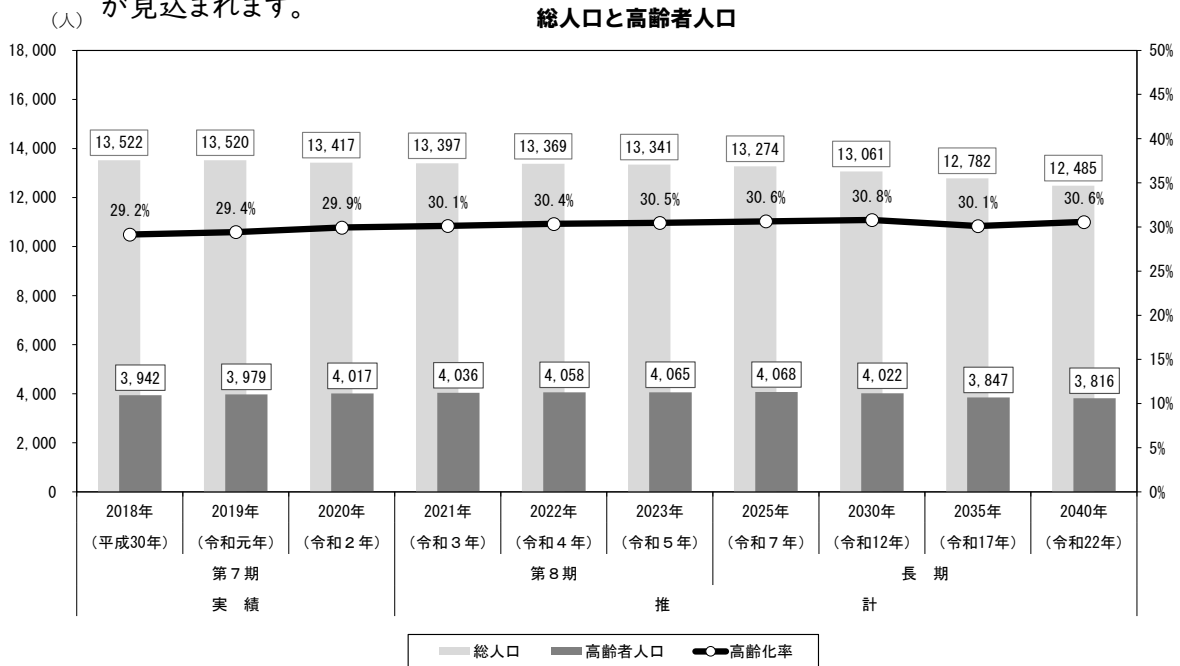


(2) 日常生活圏域ごとの人口等の推計

① 浜玉・七山地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は76人減少し、高齢者人口は48人増加するため、高齢化率は29.9%から30.5%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には30.6%、2040(令和22)年度も、30.6%になることが見込まれます。

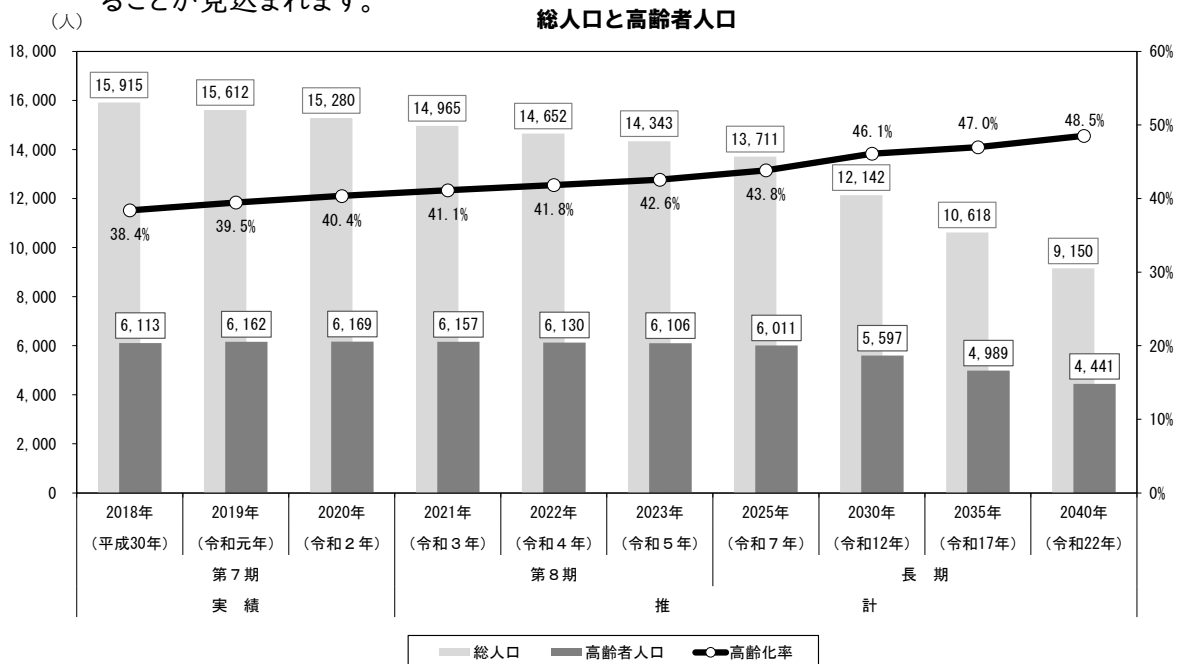


※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)

② 巖木・相知・北波多地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は937人減少し、高齢者人口は63人減少するため、高齢化率は40.4%から42.6%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には43.8%、2040(令和22)年度には、48.5%にまでなることが見込まれます。

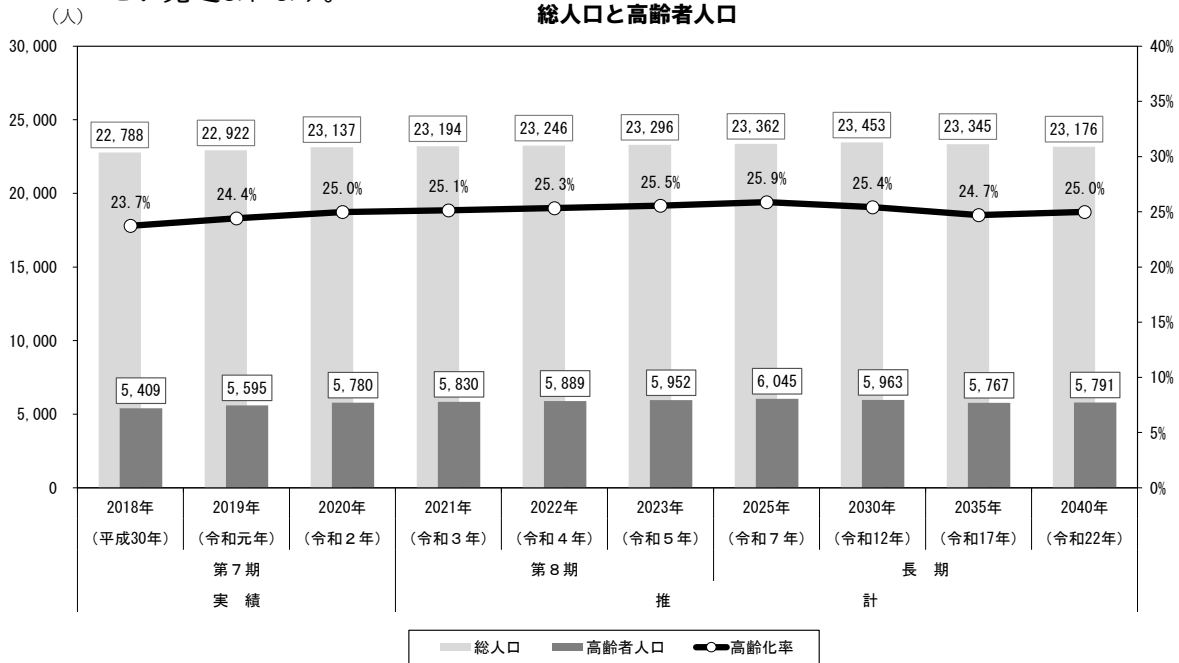


※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)

③ 鏡・久里・鬼塚地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は159人増加し、高齢者人口は172人増加するため、高齢化率は25.0%から25.5%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には25.9%、2040(令和22)年度には、25.0%になることが見込まれます。

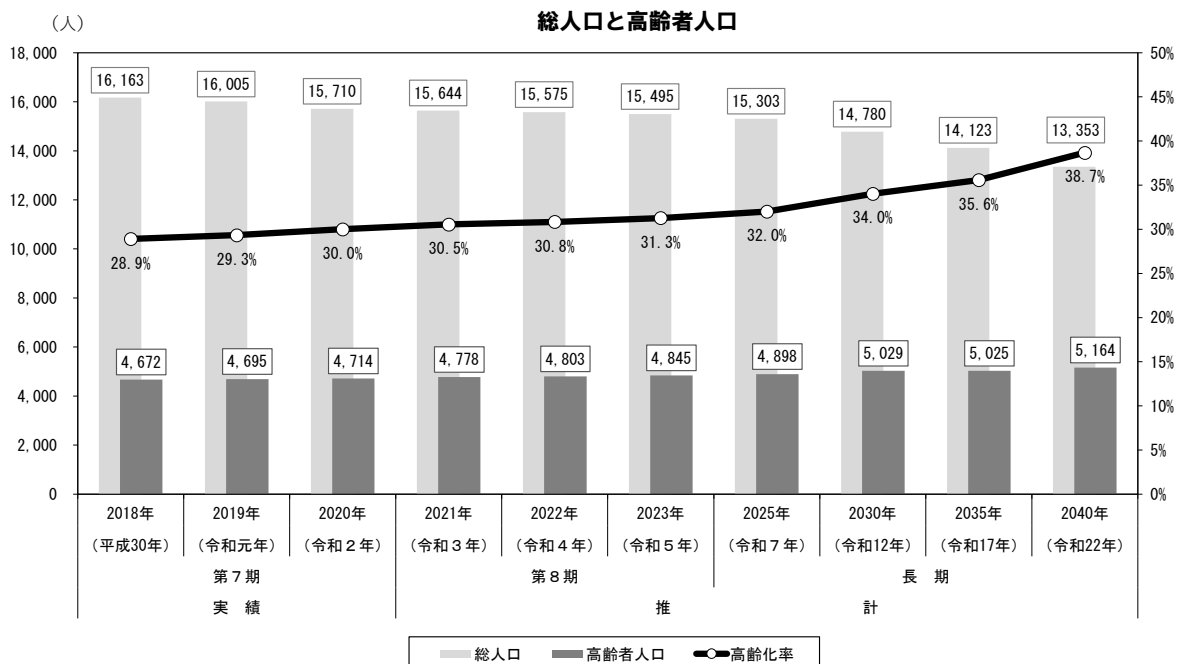


※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)

④ 成和・外町・東唐津・高島地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は215人減少し、高齢者人口は131人増加するため、高齢化率は30.0%から31.3%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には32.0%、2040(令和22)年度には、38.7%にまでなることが見込まれます。

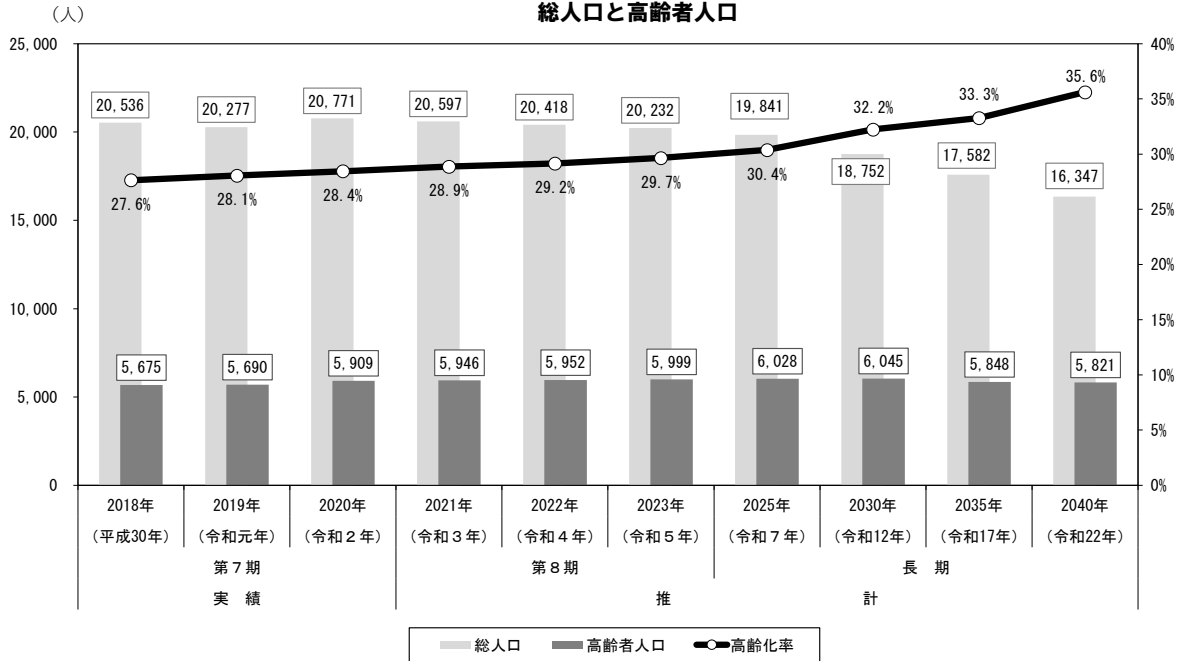


※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)

⑤ 大志・長松・竹木場地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は539人減少しますが、高齢者人口は90人増加するため、高齢化率は28.4%から29.7%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には30.4%、2040(令和22)年度には、35.6%にまでなることが見込まれます。

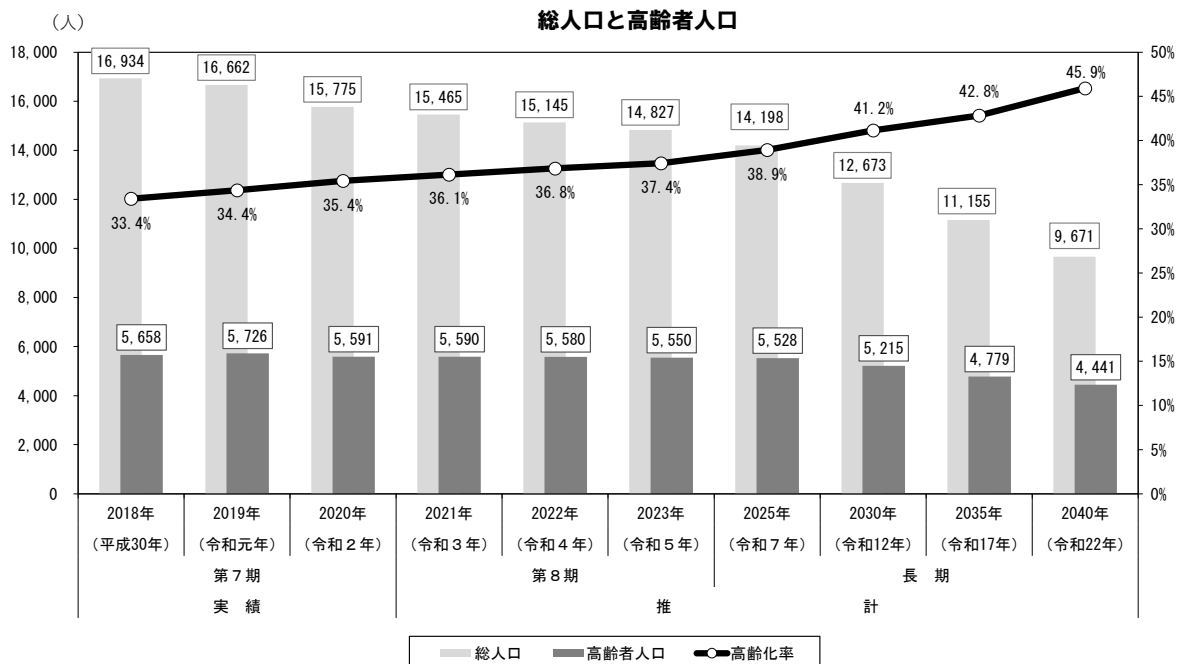


※実績は、住民基本台帳 (各年 10月1日現在)

⑥ 西唐津・佐志・大良・湊・神集島地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は948人減少しますが、高齢者人口は41人減少するため、高齢化率は35.4%から37.4%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には38.9%、2040(令和22)年度には、45.9%にまでなることが見込まれます。

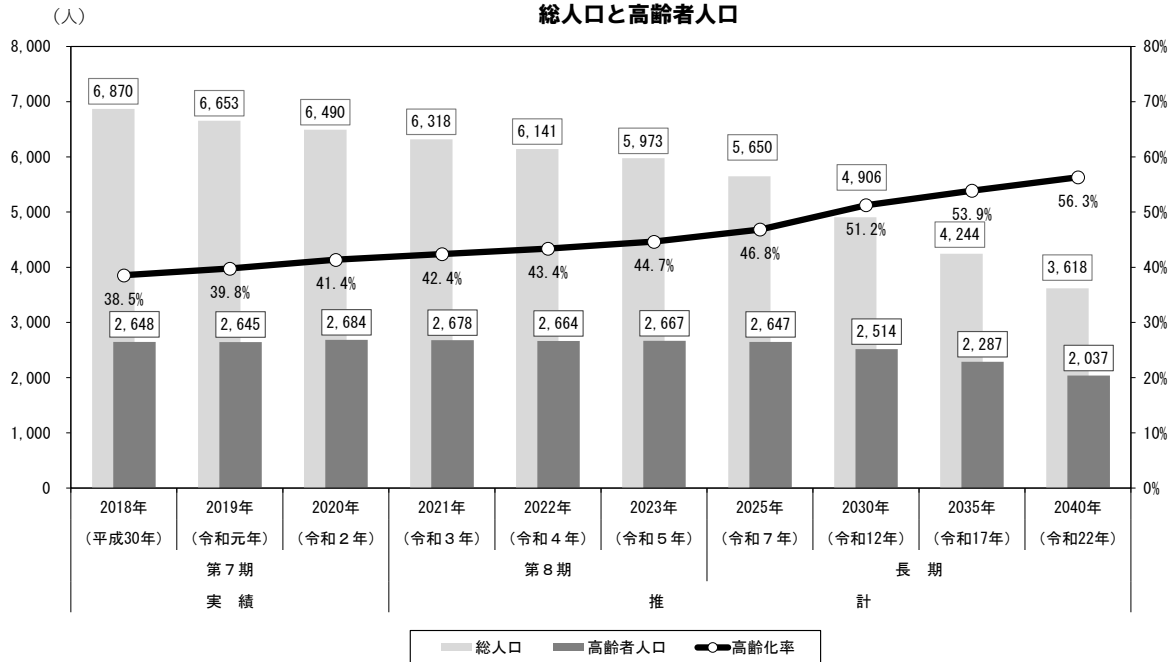


※実績は、住民基本台帳 (各年 10月1日現在)

⑦ 肥前地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は517人減少し、高齢者人口は17人減少するため、高齢化率は41.4%から44.7%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には46.8%、2040(令和22)年度には、56.3%にまでなることが見込まれます。

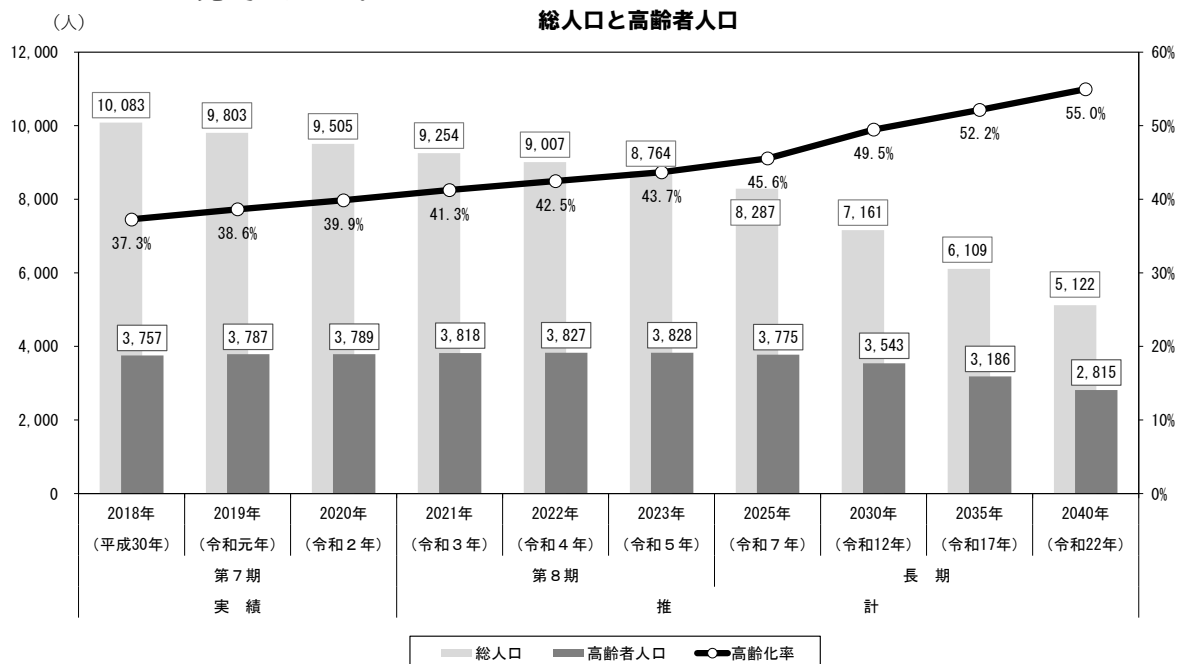


※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)

⑧ 鎮西・呼子地域

2020(令和2)年度から2023(令和5)年度には、地域全体の人口は741人減少しますが、高齢者人口は39人増加するため、高齢化率は39.9%から43.7%へと増加します。

高齢化率は、2025(令和7)年度には45.6%、2040(令和22)年度には、55.0%にまでなることが見込まれます。



※実績は、住民基本台帳(各年10月1日現在)